



上北沢桜並木通信 第22号



上北沢区民センター 文化祭のご案内 - 11月6日(土)・7日(日) -



今年も上北沢の昔話を題材とした影絵ビデオの上映とパネル展示を行います

影絵ビデオ上映

日時：11月7日(日) 13:00~15:30(予定)

場所：2階 音楽室

内容：①『世田谷の昔話』

【吉沢(鎌田)のかわうその恩返し】と【深沢神社の大蛇神輿の話】

②『PUFF(パフ)』ビデオ絵本

タイムアウト高橋さん率いるコインローファーズ演奏によるPPMの「パフ」のビデオ絵本。パフは歌の主人公。海に住む竜。ジャッキーという少年と親友。しかし竜と少年の世界は余りに違う。2人は夫々の世界に帰りパフは独りぼっちに。ちょっぴり悲しいお話をビデオにしました。

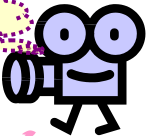
③『上北沢の昔のちょっとした話』

上北沢と桜上水は昔一つの「北沢村」だった。3軒の家が昔からあった。鈴木さん、榎本さんの2軒が村の中心(本村・今の緑中の辺)にあり、もう一軒山室さんは北の方にあった。甲州街道の開通で、山室さんの家のほうはお店や宿場が出来て栄えた。松沢病院～山谷稲荷の辺に山室さんのお醤油工場があった。病院東側バス道路は湿地帯だった。(昭和に入って)戦時中は田んぼになった。といったトピックスを新機軸の立体きり絵でお見せします。

③『上北沢の昔のちょっとした話』より↓



見に来てね!



展示(4面)

①上北沢マップ

②上北沢およびその周辺の古墳マップ

③④桜診断

桜並木実態調査&セミナー - 9月19日(日) -



桜並木の实態調査とセミナー(参加人数: 15人)

時間：10:00~15:30 場所：桜並木と区民センター 第2会議室

真夏の猛暑よりも若干温度は下がったようであるが、日中はやはり汗が出る陽気でした。

参加者は、桜並木会議のいつものメンバーの他に、画像診断を行った玉川大学の方、東京農業大学の方、桜上水にお住まいの樹木医の方、昨年の親子さくら博士教室に参加していただいた方、この桜並木の維持管理をしていただいている行政の方等でした。

講師は、石井誠治樹木医です。

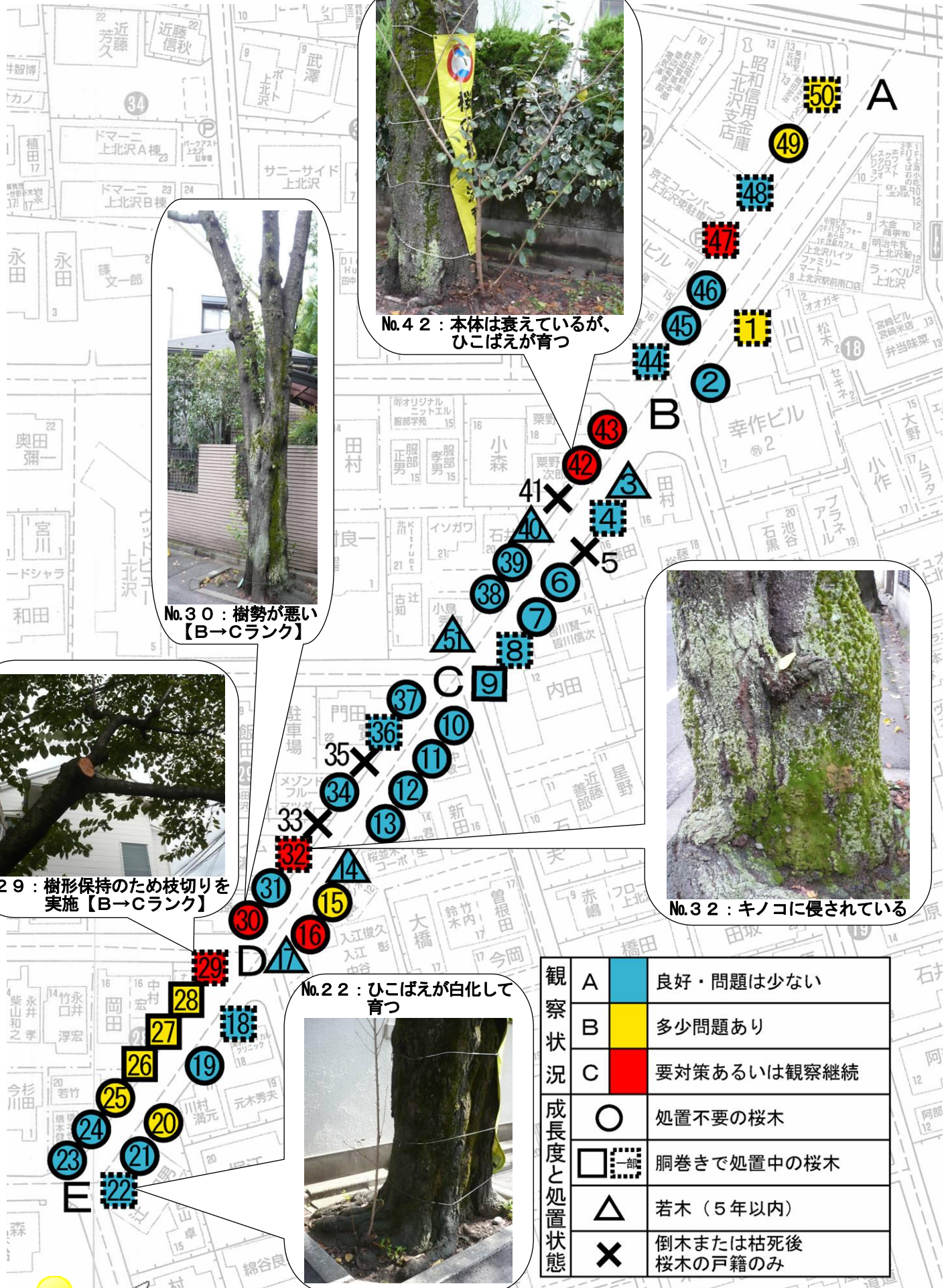
実態調査

- すべての桜を、1本ずつ丁寧に観察し、現在の状況と、今後どのように変化していくかについて診断していただきました。
- 便宜的に「A~Cの3段階評価点」を付けていますが、本来的にはAの中でも上位のものと下位のものとでは大きな差があることなどを、細かくご指摘いただきました。
- 今年2月の花芽観察会以降からランクが変化した桜木は2本でした。

セミナー

- 石井樹木医から、いつもの軽妙な話し方で、桜を含めた様々な植物の話題を提供いただきました。
- 小石川植物園で咲いた、世界最大と言われる「ショクダイオオコンニャク」の写真映像も見せていただきました。
- また、海外で最も有名なワシントンD.Cポトマック河畔の桜については、石井樹木医が今年訪問した時の様々な感想をお聞きしました。





No. 4 2 : 本体は衰えているが、
ひこばえが育つ

No. 3 0 : 樹勢が悪い
【B→Cランク】

No. 2 9 : 樹形保持のため枝切りを
実施【B→Cランク】

No. 3 2 : キノコに侵されている

No. 2 2 : ひこばえが白化して
育つ

観 察 状 況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
	C	要対策あるいは観察継続
成 長 度 と 処 置 状 態	○	処置不要の桜木
	□ (dashed border)	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木 (5年以内)
	×	倒木または枯死後 桜木の戸籍のみ

石井樹木医判定 (平成22年9月19日)



通信第21号で皆様に工事の概要についてお伝えいたしましたが、今回、もう少し詳しい状況及び今後の予定などをお伝えするため、7月27日(火)に松沢病院関係者に直接お会いして、状況を確認いたしました。

5 工事のスケジュールについて

質問：工事のスケジュールについて教えてください。

回答：平成21年6月より先行解体工事が始まり、現在病院新館の基礎工事に入っている。今後新館、職務住宅の建設工事及び旧建物の解体工事が並行して行われ、最終的な工事終了は平成25年8月を予定している。



6 新しい建物の構造について

質問：地下部分がありますか。

回答：地下部分はない。病院新館は地上7階、職務住宅は2棟あり地上5階のそれぞれ鉄筋コンクリート造りである。また、病院新館は免震層を入れた最新の耐震構造となる。地下が大きく掘って工事が進んでいるように見えるのはこの免震層を入れるためである。



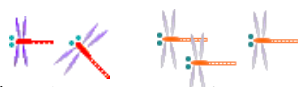
7 樹木の保存について

質問：工事により「松沢の緑が大きく失われ自然環境への悪影響」が心配される。対策はどうなっていますか？

回答：高木の伐採本数は423本、植樹は450本。都及び区の条例に従って植栽計画を立てている。しかし過去の樹木の姿を回復するには時間がかかる。

質問：植栽計画は樹木医の診断を踏まえ、保存するものと移植できないものに分けたと聞かすが、樹木医の報告内容を見せてもらえますか。

回答：検討のうえ返事する。→8月17日に植栽計画の詳細図面等を資料として入手した。



8 入院患者数について

質問：入院患者数はどのくらいになりますか。

回答：新病棟664床、社会復帰病棟200床に対する利用率は90%くらいで合計800名くらいになる。

尚、社会復帰病棟については将来的には減少させていく方向である。



9 新しく出来る「公園」について

質問：完成時期及び説明会実施について教えてください。

回答：完成は今年度末を予定。周辺住民への説明会を9月以降に行います。

10 新館完成後の内覧会の開催について

質問：内覧会は予定されていますか。

回答：23年10月完成予定なので、翌年1月頃に内覧会を行う予定です。

11 職員住宅について

質問：職員数他について教えてください。

回答：運用開始後の職員数は200人くらい。住宅2棟単身用90戸、その他家族用20戸で住民は全て世田谷区民になります。



↑松沢病院新館工事↑

今回、上北沢桜並木会議として病院との「パイプ」を持つことが出来たことが大きな収穫でした。今後とも連絡を密にし、会員はじめ地元の皆さんへ確かな情報をお届けしたいと思います。



桜並木の兄弟達【接木】 - 9月20日(月) -



小金井公園内にある「後継樹育成苗圃」において、上北沢桜並木の後継樹達が2本育っています。

これは、「小金井公園桜守の会」（代表世話人伊藤正義さん）が桜の貴重種の維持と後継樹の育成に、日夜努力されているその場所に、上北沢の桜も仲間入りさせていただいているものです。

当初13本の接木を行いました、現在育っているものは2本です。

7月31日に観察した時には、小金井公園桜守の会・伊藤さん達が、既に草取り・水やりの活動を継続されていて、我々の出番がないほどでした。

いまは2本とも弱々しい状態ですが、何とか夏を乗り切ったように見えました。



桜並木の落葉が目立つ季節です ~お掃除にご協力下さい~



10月3日(木)から桜並木のお掃除を定期的に行っています。

毎週日曜日：10時～

木曜日：8時30分～

なお、掃除道具や収集袋は桜並木会議で用意してありますので、お手伝いいただける方は、手ぶらで来ていただいでご協力下さい。



桜並木会議は、皆様の会費や区や企業からのバックアップによって運営されています。しかし、今年度は区の補助金を伴うプロジェクトに参加しないことや、昨今の経済情勢から企業の地域活動支援を受けることが難しい状況です。

そのため、皆様のご協力をぜひともよろしくお願いいたします。



上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：石井 昭 TEL:3303-1524

- 桜並木会議が行う月例会（第3火曜日18:30～20:30）・ウィークエンドミーティング（第2日曜・第4土曜日10:00～12:00）や行事等に、是非ご参加下さい。
- 桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。
- 桜並木会議の活動状況は、HP（<http://www.sakuranamiki.org/>）に出ていますので、ご覧下さい。



会員のお店紹介



和菓子 川越屋

上北沢4-16-13 TEL: 03-3302-3728

《場所: 上北沢北口商店街 三菱東京UFJ銀行前》

開店: 午前8:00

閉店: 午後7:00~7:30

休業日: 毎週日曜日・その他月1日



「川越屋」さんは、先代が修行をしていた桜新町にあった川越屋さんから暖簾分けをされ、大正13年に創業しました。その年は、上北沢が住宅地として分譲され、住宅街に桜が植えられて桜並木がつけられた年でもあります。桜並木と共に80年を過ぎる上北沢屈指の老舗です。

今のご主人は上北沢のお店で修行をしていて、昭和36年に後を継ぎ2代目になりました。昭和41年に今の店舗に建て直し、和菓子だけではなく、パンやケーキなども製造販売していた時期もあり、小学校や幼稚園に給食のパンを納めていました。多い時には従業員が15、6人もいました。上北沢在住だった中曽根元首相宅へも商品を納め、一緒に写真を撮ったりしたそうです。現在はご夫婦にもう一人の家族を加え3人でお店を営んでいます。

「川越屋」さんと言えば、“赤飯、お餅！”とお客さんから絶大な人気と信頼があります。ご主人自慢のお菓子はご自身考案の“カフェオレ大福”。冷凍してあるものを半解凍の状態で食べます。軟らかいお餅にくるまれたコーヒーの香り豊かな餡の中に冷たい生クリームが入っていて、口の中で絶妙な味のハーモニーが広がります。



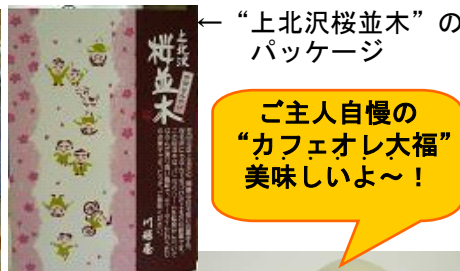
以前、エフエム世田谷のラジオ放送で紹介され、注文が殺到したこともあります。作るのに手間がかかるので1日100個限定です。また、“上北沢桜並木”という名前のお菓子（クリームをはさんだ鉾泉せんべい）は、ご主人が上北沢の名物があるといいなと思い、製造業者に上北沢の桜並木を見てもらい、パッケージをデザインしてもらいました。ほのぼのとした上北沢らしい素敵な包みで上北沢のおみやげに最適です。

このお菓子は、(財)世田谷産業振興公社が選んだ「世田谷みやげ2008の74品目」に登録されています。

お店には所狭しとたくさんのお菓子が並べてありますが、ショーケースの中の生菓子や焼き菓子などは、全てお店で作っていてざっと数えても25、6種類はあります。これだけの品をそろえるためには、朝6時から仕込みにかかります。餡子を練るのは体力のいる大変な作業です。最近は職人さんもなかなかいなくて、後継者がいないのが悩みのたねのようです。



↑(向かって左から)とても明るい女将さん↑
笑顔がステキな看板娘、研究熱心なご主人



←“上北沢桜並木”の
パッケージ

ご主人自慢の
“カフェオレ大福”
美味しいよ~!



↓昭和30年6月6日撮影↓

